JPCOAR スキーマ Version.2.1 改訂内容

オープンアクセスリポジトリ推進協会
コンテンツ流通促進作業部会

1　概要

この度、機関リポジトリのメタデータ規格である JPCOAR スキーマについて、当部会に寄せられた要望や JPCOAR スキーマが採用している外部の統制語彙の改訂等に応じて、「2 改訂内容」のとおり統制語彙の追加や JPCOAR スキーマガイドライン Web サイト上の表記を変更します。

2　改訂内容

2.1　統制語彙の追加

項目	属性	**追加語彙**	**追加語彙（日）**
4. 寄与者 jpcoar:contributor	contributorType	Translator	翻訳者
12. 日付 datacite:date	dateType	Coverage	適用範囲
15. 資源タイプ dc:type		artistic work	芸術作品
		collection	コレクション
		archival collection	アーカイブコレクション
		court documents	裁判所文書
		knowledge organization system	知識組織化体系
		physical sample	物理的サンプル
		research instrument	実験装置
		magazine article	雑誌記事
		knowledge synthesis protocol	知識統合プロトコル
20. 関連情報 jpcoar:relation	relationType	IsCollectedBy	～により収集されている
		Collects	～を収集している
		Continues	～を継続している
		IsContinuedBy	～によって継続されている
		IsTranslationOf	～の翻訳版・訳本
		HasTranslation	～の原語版・原本
20.1. 関連識別子 jpcoar:relatedIdentifier	identifierType	CSTR	共通科学技術資源識別子（CSTR：Common Science and Technology Resources Identifier）
		RRID	研究資源識別子（RRID：Research Resource IDentifier）

24. 収録物識別子 jpcoar:sourceIdentifier	identifierType	ISBN	国際標準図書番号（ISBN：International Standard Book Number）

2.2 JPCOAR スキーマガイドライン Web サイト等の表記の変更（下線太字が修正箇所）

- 資源タイプ語彙別表の「rdf:resource」末尾にスラッシュの有無が混在しているため、COAR の URI として定義されている「スラッシュなし」に統一する
- Open Funder Registry が将来的に ROR（Research Organization Registry）に統合されるため、「23.1 助成機関識別子」の記述内容を修正し、**ROR の記入を推奨**する
  - ✧ 「注意点」で ROR がない場合に限り他のコードを利用するよう記述を改める
- 「20 関連情報」の「注意点」を「著者最終稿から出版者が付与した DOI にリンクする場合は、relationType="isVersionOf"を**必ず**使用する。」に修正する
- JPCOAR スキーマの「関連リソース」サイトにサンプル XML へのリンクを掲載する
- No.3 作成者の「注意点」を「コンテンツの作成に直接的に関与した者を作成者、間接的に関与した者を寄与者として明確に区別し、寄与者の役割である contributorType の統制語彙に該当する役割を持つ者は**原則として**寄与者として記入する。」に修正する
- No4.2 寄与者姓名の「注意点」を「著者**や翻訳者等**のような直接的な役割の者は jpcoar:creator（作成者）を使用する。」に修正する
- No.11 出版地(国コード)から**「属性」の欄を削除する**
- No.40 物理的形態の「推奨例」に**言語属性を追記する**
- No.4 寄与者＞寄与者所属＞所属機関識別子および、No.3 作成者＞作成者所属＞所属機関識別子の「推奨例」に **ROR および ISNI の両方を記載**し、**ROR の推奨例には nameIdentifierURI 属性を追記する**
- No.12 日付の「推奨例」を「日付の範囲がある場合**の書き方（dateType は変更可）**」に修正する